

第1回 芽室町教育振興基本計画策定委員会 議事録

令和4年6月1日(水)19:00~19:50

芽室町役場 地下 会議室5・6

出席者 委員：17名（嶋野委員欠席）

教育委員会：

程野教育長

教育推進課：有澤課長、清末補佐、森センター長、金須教育総務係長、橋本教育推進係長、教育総務係金沢

生涯学習課：日下課長、藤澤館長、村島社会教育係長、梅森スポーツ振興係長

1 開会

出席委員：嶋野委員を除く17名

半数以上の出席があり会議は成立

2 委嘱状交付

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、委嘱状は手交ではなく机上配付とした。

3 教育長あいさつ

あいさつに加え、コミュニティスクール及びめむろ未来学について説明

4 委員紹介

教育推進課長から各委員を紹介、併せて参加の事務局職員自己紹介

5 委員長・副委員長選任

教育推進課長から、事務局案提示を提案し了承を受けたことから、西村委員を委員長、岩野委員を副委員長とする案を提示し、了承を得、委員長・副委員長に選任することとした。

6 質問書交付

程野教育長から西村委員長に対し諮問書を交付。他の委員に対しては諮問書の写しを交付

7 芽室町教育振興基本計画について

委員名簿について、会議資料事前送付の際未決定の委員がいたことから、決定後の委員名簿を差し替えとして配付

金須係長から資料に沿って説明

質疑等なし

8 芽室町教育振興基本計画（平成31度から令和4年度）の評価、振り返りについて

金須係長から資料に沿って説明。質疑等は以下のとおり

●施策項目1：

三上委員：p. 17について。私は授業改善推進チームの教員として業務に当たっているところだが、授業改善推進チーム活用事業は、令和4年度で廃止となる事業である。次期の計画策定に当たっては、この事業は活用できないため目標達成の手段としては記載できないものと思う。

橋本係長：p. 17の記載については現行の計画に係るものであり、今年度末までの目標数値であることから、同事業を活用していくという記載となっている。

●施策項目2～6：なし

●施策項目7：

岩野副委員長：本施策項目にあるICTに関連し、現在芽室町では教育長から説明のあっためむろ未来学の計画やハード整備を通してICT教育の推進に取り組んでいることと思う。

ところで、教育現場のICT化はここ1～2年で急速に進んだことであり、この計画を策定した当時はGIGAスクール構想もない状態だった。現在では1人1台の端末が整備され、これからICTの活用方法、利用に当たってのモラル、学力向上への寄与等研究していく時期になっていると思う。

そういう時代性もありやむを得なかつたのだろうが、成果指標の中にICTに係るものが取り上げられていない。次期計画の策定に当たっては、令和2年度から今年度までの実態・状況を整理しそれを基準として押さえた上で、令和5年度以降のICT教育をどのように進めていくか、一定の方向性を持って次期計画を策定する必要があるのではないか。

西村委員長：今の意見に加えて、計画策定後に新型コロナウイルスの発生もあったが、それらの経過も触れられていない。この点は載せる必要があったものと考える。

清末補佐：成果指標にICT関連項目を加える必要があるという理解。今後の策定委員会での協議の中で具体化していければと思う。ただし、何をもってICT教育が進んでいると評価すべきかは難しい問題である。今後先進地視察も予定しているので、それらを踏まえながら評価の指標も明確化していければと思う。

西村委員長：今後の策定の過程の中で盛り込んでいかなければならないと考える。
次回以降の会議で進めていければと思う。

有澤課長：この計画とは別に、教育委員会では令和2年度にICT整備・活用指針を策定した。ご指摘のとおり昨今のICT化の波に対応するために、ハード整備や運用に関する指針を定めたものが、運用についての記載はそこまで明確、詳細にはなっていないのが現状。本計画の策定に当たっては、ご指摘いただいたこと、ご説明したことを踏まえて策定していくこととなろう。

●施策項目8：

日下課長：補足説明。施策項目8つのうち、社会教育分野は1つのみとなっている。偏った印象を受けている方もいるかと思われる。

この計画を実現するために、当課では個別の計画として社会教育推進中期計画を同時並行で策定していく。こちらはより細部を記載した計画としている。その計画に記載された重点項目を抜き出して記載したものがこの施策項目8、という仕立てになっている。前回策定時は、北海道が同様の仕立てとなっていたため、それに倣う形で策定したものである。次期計画も同じような仕立てで策定しようと考えている。

9 その他

内山委員：先日、新聞紙上に清末補佐の記事が掲載されていた。芽室町には不登校の子が多いということで、町を上げて問題意識を持っている状況だと思う。私も幼児教育に携わる者として、教育の中で何かが不足していたのかと心を痛めている。この計画の策定に当たって、アプローチが何らかあったと思うが、これまでの取組状況等教えていただければと思う。

清末補佐：2月までの審議を通じて、その点も触れていきたいと思っている。幼児教育は現在注目されており、無償化や幼児教育センターの建設等が進んでい

るところ。幼児教育は人の一生に影響を与えると言われており、適応力、いじめ、就職率、健康にも大きな影響を与えるとされていて、科学的な証明もなされている。学校教育としては、幼稚園・保育所から小学校に進学する際に躊躇ないようスタートカリキュラムが学習指導要領に位置付けられている。

いただいた意見を踏まえた上で審議、計画策定を行えればと思う。

西村委員長：学校教育が主として映ってしまうが、幼児教育も重要だということ。

関心事として捉えていきたい。

次回委員会は、7月中旬～下旬頃を予定